

# 平成25年度 第2回 高等学校入学者選抜審議会

## 専門委員会

日時 平成25年10月29日(火)14:00～

場所 県庁 611会議室

### 次 第

1 資料確認

2 開 会

3 挨 拶

4 審 議

(1)平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜の実施に関する検証について

5 その他

6 閉 会

【 資 料 】 . . . . . (総ページ数)

会議関係資料 . . . . . (4)

参考資料 . . . . . (8)

みやぎ学力状況調査 . . . . . (13)

# 高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## 2 第2回高等学校入学者選抜審議会 専門委員 名簿

### 【専門委員】

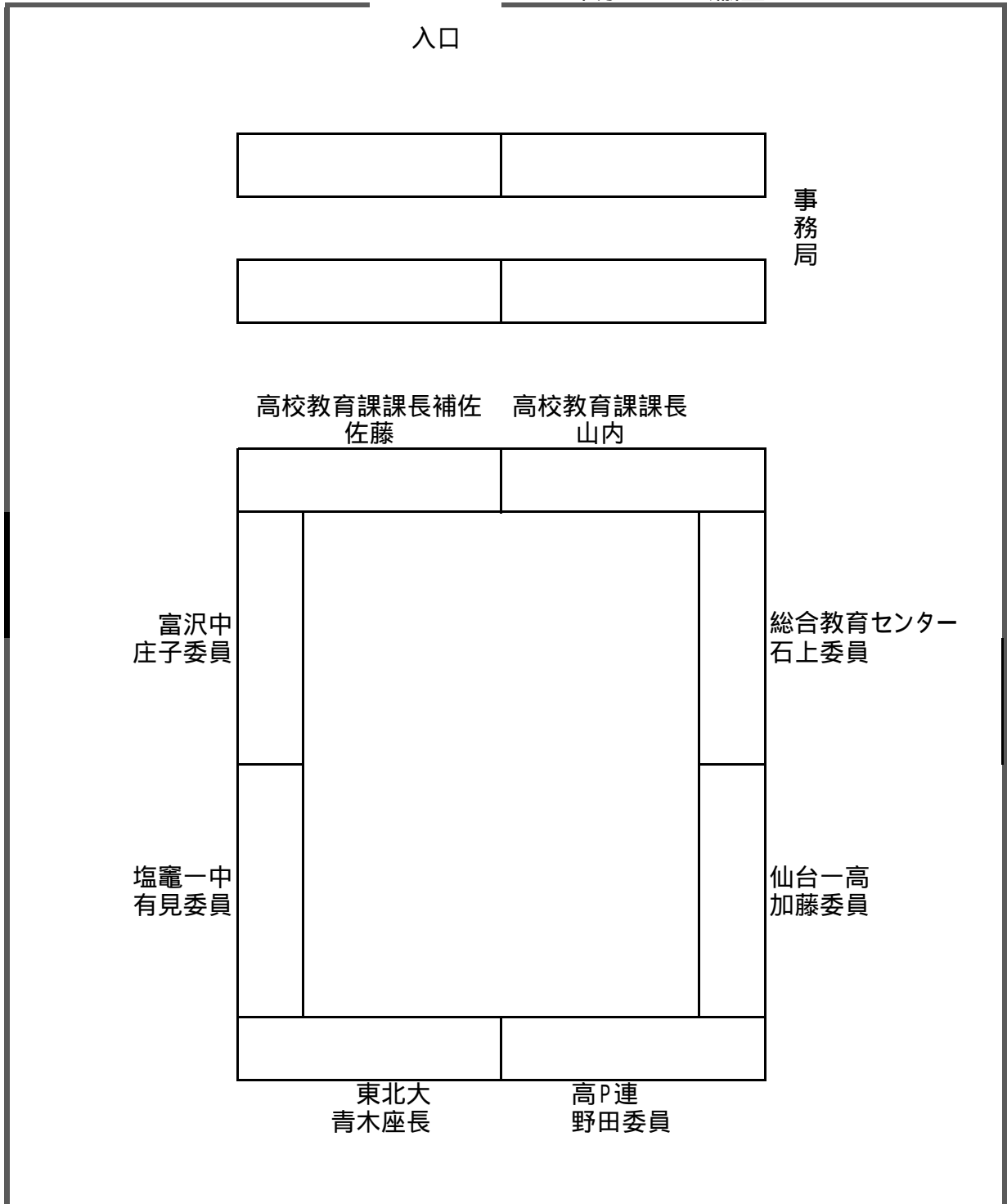
	氏 名	現 職	備 考
1	青木 栄一	東北大学大学院教育学研究科准教授	
2	野田もと子	宮城県高等学校PTA連合会常任理事	
3	有見 正敏	塩竈市立第一中学校校長	
4	庄子 修	仙台市立富沢中学校校長	
5	加藤 順一	宮城県仙台第一高等学校校長	
6	石上 正敏	宮城県総合教育センター所長	

### 【教育庁関係者】

高校教育課 課長	山内 明樹
副参事兼課長補佐	佐藤 健二
教育指導班課長補佐	青山 純
教育指導班主幹	後藤 和也
” 主幹	菊田 英孝
” 主幹	三宅 裕之

3 平成25年度 第2回高等学校入学者選抜審議会  
専門委員会 座席図

県庁 611会議室



# 参考資料

## 資料(1)

平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

- 1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)
- 2 学科別出願者数・合格者数等・・・・・・・・・・・・(2)
- 3 地区別出願者数・合格者数等・・・・・・・・・・・・(2)
- 4 学力検査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)
- 5 東日本大震災に係る対応・・・・・・・・・・・・(3)
- 6 - 1 6 - 2

出願状況から見た全県一学区化に伴う地区外出願希望状況について

・・・・(4)

- 7 平成25年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果(概要版)

・・・・(6)

## 資料(2)

- 1 新入試制度導入までの経過・・・・・・・・・・・・(7)

- 2 今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について 答申

(平成21年12月16日高等学校入学者選抜審議会) ・・・・(別冊)

## 平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜

### 1 総括

平成25年5月1日

	全 日 制 課 程		定 時 制 課 程	
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
中学校卒業予定者数 (平成24年5月1日現在)	21,782	21,999	-	-
募 集 定 員 (a)	15,160	15,160	1,040	1,040

	全 日 制 課 程	
	平成25年度	平成24年度
併設型中学校から併設型高等学校への入学 (b)	158	75

H24は推薦入試			全 日 制 課 程		定 時 制 課 程	
			平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
前期選抜	募集人数		3,606	5,066	230	295
	出願者数		8,484	5,302	187	25
	合格者数 (c)		3,469	4,131	102 (1)	24 (1)

(注) ( )内数字は、社会人推薦合格者数で内数

	全 日 制 課 程		
	平成25年度	平成24年度	
連携型入試	募集人数	142	142
	出願者数	101	113
	合格者数 (d)	101	108

H24は一般入試			全 日 制 課 程		定 時 制 課 程	
			平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
後期選抜	出願当日締切	募集人数	11,432	10,846	938	1,016
		出願者数	13,551	13,320	392	494
		出願倍率	1.19	1.23	0.42	0.49
		特例措置出願	1	2	0	0
	学力検査当日	欠席者数	190	208	15	9
		受験者数	13,362	13,114	377	485
		受験倍率	1.17	1.21	0.40	0.48
		合格者数 (e)	10,639	10,199	316	417

(注) 出願倍率 = 出願者数 / 募集人数

(注) 受験倍率 = 受験者数 / 募集人数

	全 日 制 課 程		定 時 制 課 程		
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	
第二次募集	募集人数	806	659	622	599
	出願者数	174	157	133	130
	受験者数	171	154	130	130
	合格者数 (f)	149	141	98	91
全 合 格 者 数 (b+c+d+e+f)	14,516	14,654	516	532	
充 足 率 (%) ((b+c+d+e+f)/a *100)	95.8	96.7	49.6	51.2	

## 2 学科別出願者数・合格者数等

### (1) 全日制課程

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数	充足率 (%)
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率				
1	普通	9,800	5,264	1,925	36.6	9,120	7,193	78.9	238	79	9,435	96.3
2	農業	760	388	198	51.0	583	462	79.2	-	10	670	88.2
3	工業	1,640	941	476	50.6	1,387	1,097	79.1	-	6	1,579	96.3
4	商業	1,200	779	332	42.6	944	747	79.1	21	18	1,118	93.2
5	水産	200	121	60	49.6	143	124	86.7	-	17	201	100.5
6	体育	120	194	60	30.9	95	58	61.1	-	0	118	98.3
7	英語	80	85	21	24.7	96	59	61.5	-	0	80	100.0
8	家庭	120	73	31	42.5	119	84	70.6	-	0	115	95.8
9	看護	40	15	12	80.0	39	28	71.8	-	0	40	100.0
10	理数	200	169	60	35.5	232	140	60.3	-	0	200	100.0
11	美術	40	79	20	25.3	41	20	48.8	-	0	40	100.0
12	総合	960	376	274	72.9	753	627	83.3	-	19	920	95.8
	計	15,160	8,484	3,469	40.9	13,552	10,639	78.5	259	149	14,516	95.8

中高一貫教育進学者数は、連携型入試合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を合わせたもの

### (2) 定時制課程

合格率 = 合格者数 / 出願者数 (または受験者数) × 100

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数	充足率 (%)
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率				
1	普通	800	166	91	54.8	349	298	85.4	-	87	476	59.5
2	工業	240	21	11	52.4	43	18	41.9	-	11	40	16.7
	計	1,040	187	102	54.5	392	316	80.6	-	98	516	49.6

## 3 地区別出願者数・合格者数等(全日制課程)

	地 区	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数	充足率 (%)
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率				
1	刈田・柴田	1,320	598	320	53.5	963	870	90.3	-	25	1,215	92.0
2	伊 具	320	80	75	93.8	194	184	94.8	-	19	278	86.9
	南部地区	1,640	678	395	58.3	1,157	1,054	91.1	-	44	1,493	91.0
3	亘理・名取	1,000	407	222	54.5	991	773	78.0	-	1	996	99.6
4	仙 台南	2,400	1,718	522	30.4	2,567	1,800	70.1	78	0	2,400	100.0
	中部南地区	3,400	2,125	744	35.0	3,558	2,573	72.3	78	1	3,396	99.9
5	仙 台北	2,920	2,052	656	32.0	3,391	2,264	66.8	-	0	2,920	100.0
6	塩 釜	1,160	808	264	32.7	1,168	899	77.0	-	0	1,163	100.3
7	黒 川	520	342	148	43.3	447	369	82.6	-	0	517	99.4
	中部北地区	4,600	3,202	1,068	33.4	5,006	3,532	70.6	-	0	4,600	100.0
8	大 崎	1,280	605	290	47.9	909	774	85.1	80	27	1,171	91.5
9	遠 田	440	224	109	48.7	340	302	88.8	-	12	423	96.1
10	登 米	680	250	128	51.2	449	419	93.3	-	14	561	82.5
11	栗 原	640	229	163	71.2	400	383	95.8	-	8	554	86.6
	北部地区	3,040	1,308	690	52.8	2,098	1,878	89.5	80	61	2,709	89.1
12	石 巻	1,680	941	428	45.5	1,210	1,116	92.2	-	33	1,577	93.9
13	本 吉	800	230	144	62.6	523	486	92.9	101	10	741	92.6
	東部地区	2,480	1,171	572	48.8	1,733	1,602	92.4	101	43	2,318	93.5
	総 計	15,160	8,484	3,469	40.9	13,552	10,639	78.5	259	149	14,516	95.8
	前 年 度	15,160	(5,302)	(4,131)	(77.9)	13,114	10,199	77.8	183	141	14,654	96.7

昨年度( )は推薦入試

#### 4 学力検査の結果

##### 前期選抜

教科別得点・総点の平均及び最高等

(満点は各教科とも100点)

	項目/教科等	国語	数学	英語	総点
全日制	平均	63.0	48.0	56.2	167.3
	最高	97	100	98	282
	最低	5	0	5	21
	前年度平均	-	-	-	-
定時制	平均	42.5	14.6	21.9	79.0
	最高	80	93	55	175
	最低	12	0	4	22
	前年度平均	-	-	-	-

##### 後期選抜

教科別得点・総点の平均及び最高等

(満点は各教科とも100点)

	項目/教科等	国語	数学	社会	英語	理科	総点
全日制	平均	50.4	45.2	54.2	53.4	44.1	247.4
	最高	90	100	100	100	100	459
	最低	0	0	0	4	1	20
	前年度平均	61.0	A 41.8 B 58.0	58.4	A 40.8 B 57.7	49.1	(264.9) (参考)
定時制	平均	25.2	13.2	21.4	19.4	20.4	99.6
	最高	69	70	70	63	58	275
	最低	3	0	0	0	0	16
	前年度平均	38.1	A 16.5 B -	25.1	A 25.2 B -	22.7	(127.7) (参考)

#### 5 東日本大震災に係る対応

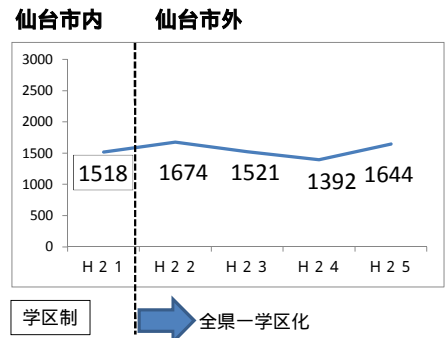
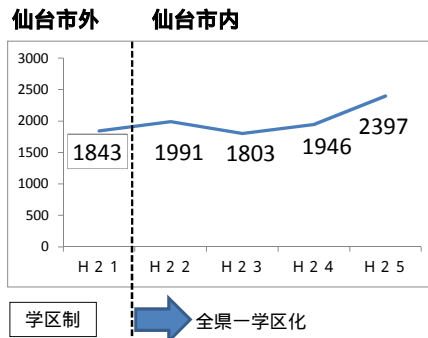
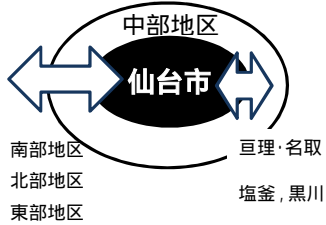
	前期選抜・ 連携型入試	後期選抜	第二次募集	合計
入学者選抜手数料の 免除申請者数 (下段は割合)	1,709 ( 19.5 %)	2,526 ( 18.1 %)	53 ( 17.3 %)	4,288 ( 19.1 %)
臨時的措置による 出願者数	8	12	0	20



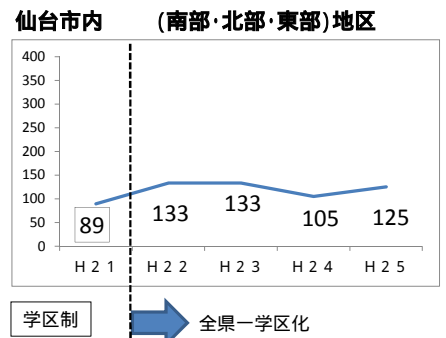
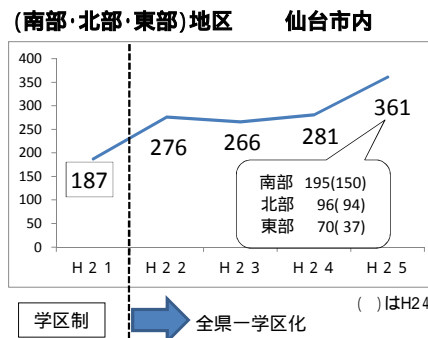
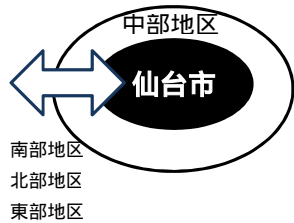
補助資料

出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願希望状況について  
(H21～H24の推薦入試+一般入試及びH25の前期選抜+後期選抜)

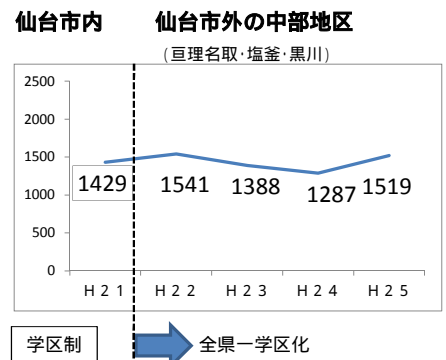
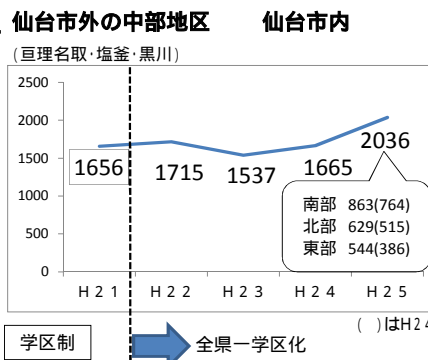
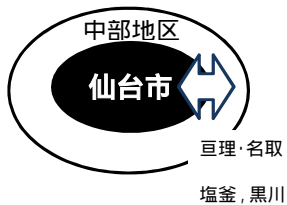
1 仙台市内外



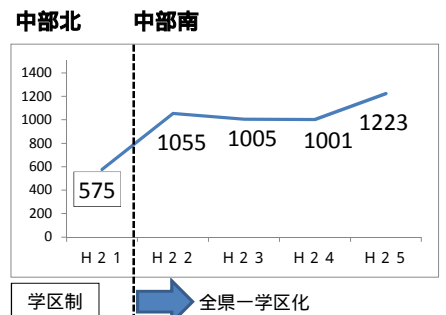
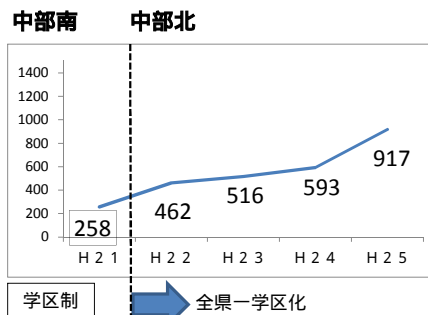
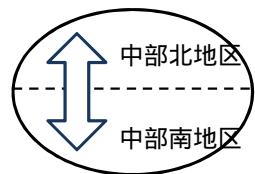
2 仙台市内と各地区



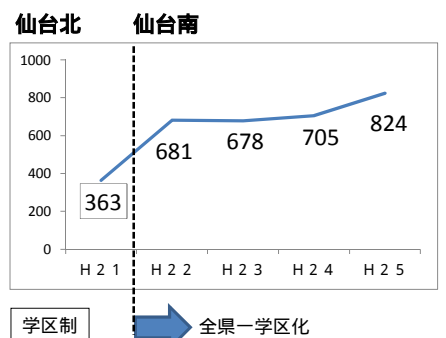
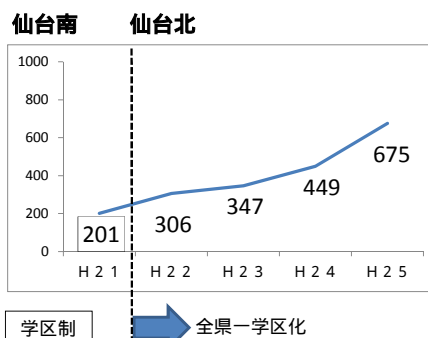
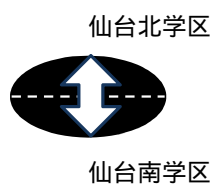
3 仙台市内と周辺地区



4 中部南北間



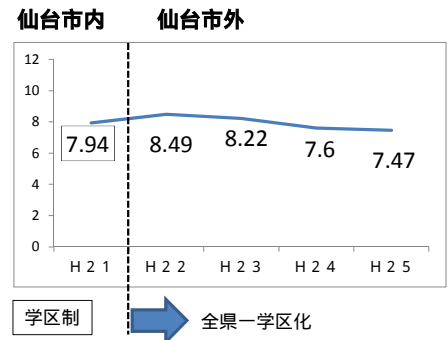
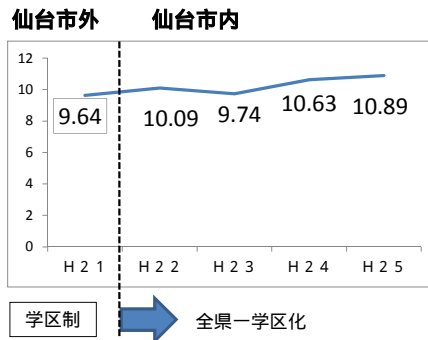
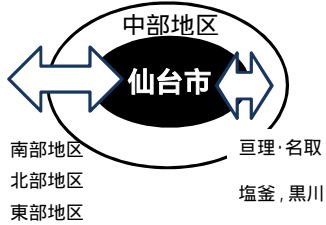
5 仙台北南間



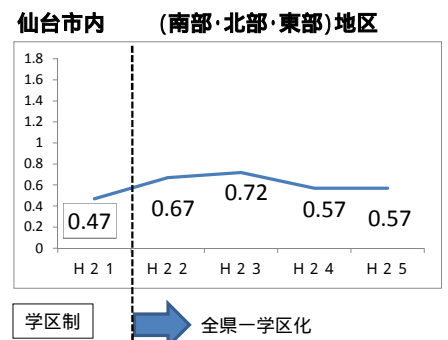
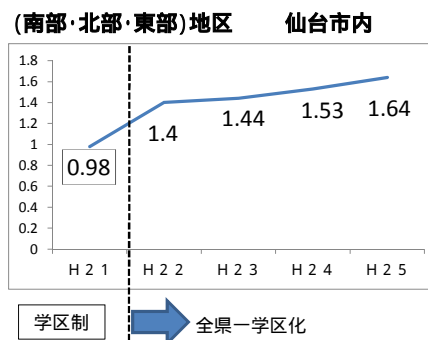
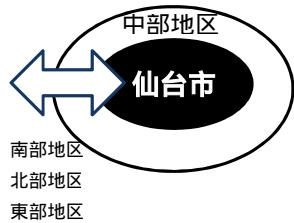
補助資料

出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願希望状況について  
 (H21～H24の推薦入試+一般入試及びH25の前期選抜+後期選抜)  
 数値は総出願者数に対する各地区への出願者数の割合(%)

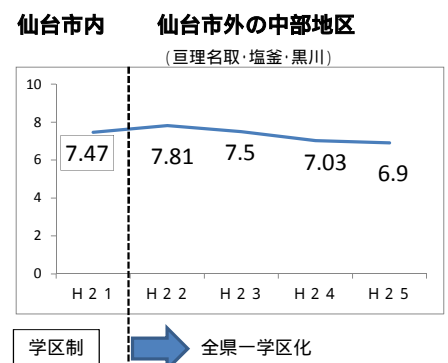
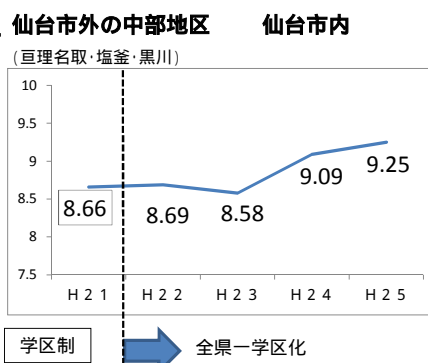
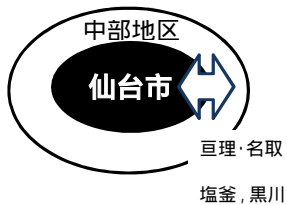
1 仙台市内外



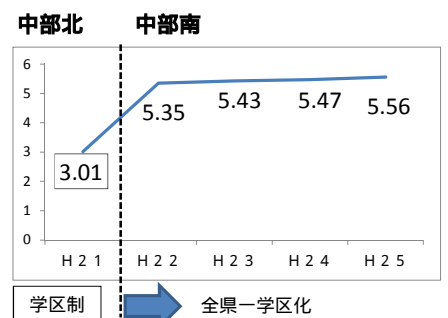
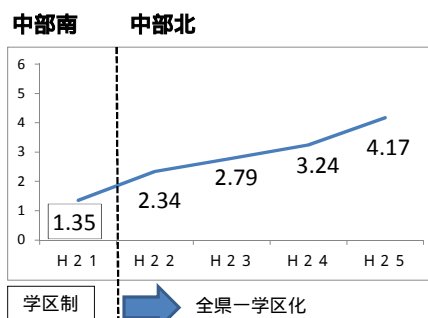
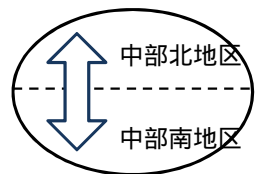
2 仙台市内と各地区



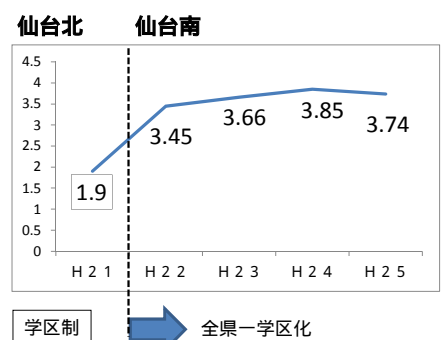
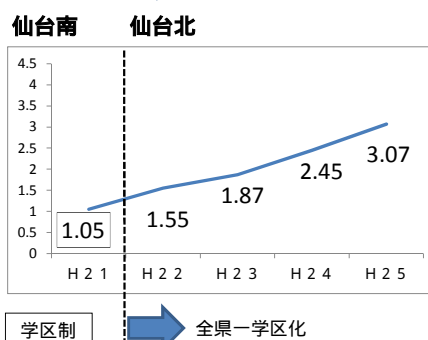
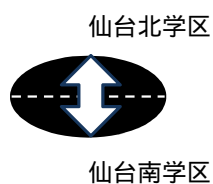
3 仙台市内と周辺地区



4 中部南北間



5 仙台北南間



## 7 平成25年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果(概要版)

宮城県教育委員会

### 1 目的

検査問題の妥当性を検討し、今後の問題作成に役立てること、また、検査結果から受験者の学習状況を把握し、中学校・高等学校における学習指導の参考とすることで、入学者選抜の改善に資する。

### 2 学力検査

- ・前期選抜・・・国語，数学，英語の3教科
- ・後期選抜・・・国語，社会，数学，理科，英語の5教科

### 3 受験状況

	全日制(人)	定時制(人)	計(人)
前期選抜	8,455	185	8,640
後期選抜	13,361	377	13,738

### 4 分析方法

全日制課程の受験者のうち、前期選抜では、25校200人、後期選抜では、50校400人の答案を抽出し、各教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

### 5 分析結果

#### (1) 得点分布

前期選抜・・・冊子1ページ

後期選抜・・・冊子21～22ページ

#### (2) 各教科の概況

【前期選抜】	
国語 平均点 63.0点	漢字の読みは高い正答率，表現・構成を正しく把握する力，目的に応じて表現する力に課題
数学 平均点 48.0点	事象の考察に数学を活用する力，複数の事項を組み合わせる思考する力に課題
英語 平均点 56.2点	コミュニケーション表現は高い正答率。文章の内容を読み取ったり，考えや気持ちを表現したりする力に課題
【後期選抜】	
国語 平均点 50.4点	内容や表現を比較し相互に関連付けて読む力，目的や条件に応じて適切に表現する力に課題
社会 平均点 54.2点	複数の資料から読みとった情報を関連付けて思考し，表現する力に課題
数学 平均点 45.2点	直観的な見方や得られた情報を深め考察し表現する力に課題
理科 平均点 44.1点	複数の基本事項を関連付けて考え，表現していく力に課題
英語 平均点 53.4点	コミュニケーション頻出表現の定着度は高いが，文章の内容を読み取ったり，理由を説明したりする問題には課題

# 新入試制度導入までの経過

## 1 背景（課題）

### 推薦入試の課題

- ・中学校長の推薦の有無により受験機会に差が生じる
- ・推薦の基準や各高校が「求める生徒像」が抽象的で、中学校での校内選考が困難
- ・学力検査が不要な早期合格の手段となり、学習意欲の低下などの影響あり
- ・特に普通科では、5段階評定にのみ依存した選抜となっているのではないか

### 一般入試の課題

- ・学力検査問題の質と量、英語・数学の学校選択問題の継続の可否等を検討すべき
- ・中学生や受験生・保護者に、各高校の選抜方針をどのように具体的に示すか
- ・高校の特色化を図るために、学校裁量幅をどのように拡大するか

## 2 審議等の経過

### 諮問

県教育委員会が高等学校入学者選抜審議会に「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」諮問（平成20年7月）

### 意見聴取等

審議会（7回）

小委員会（11回）

調査（H20年10月）

意見聴取会（H21年3～5月，県内5会場）

パブリックコメント（H21年9～10月）

- ・現行の推薦入試について「改善すべき」が、中学校・高等学校とも約5割
- ・普通科の推薦入試を「廃止すべき」が、中学校の約7割，高校の約5割
- ・中学校の進路指導主事の75%が，一般入試と第二次募集の2回制が良いと回答
- ・中学校2年生とその保護者の7割以上が，3回の受験機会が良いと回答
- ・自由記述では，「公平な入試」，「学力向上」，「中高の円滑な接続」の意見が多い

### 答申

高等学校入学者選抜審議会が，見直し答申（平成21年12月）

### 決定・公表

県教育委員会が，見直し方針を決定，公表（平成22年3月）

## 3 改善の観点と考え方

### 改善の主な観点

- ・受験生の多様な能力・適性を多面的に評価
- ・学力の向上
- ・特色ある学校づくりの一層の推進

### 基本的な考え方

- ・生徒にとって公正かつ適正なものである
- ・受験生が自らの将来を展望する契機となる
- ・中学校と高等学校を円滑につなぐものである
- ・学力向上につながるものである

## 4 これまでの周知経緯

- (1) 県内の全中学生を対象としたリーフレットの作成と配布（H22年7月，H23年7月）
- (2) 各地区のPTA連合会総会，市町村が主催する保護者説明会において説明（H24年度は38回実施し，約6,000人を対象として実施）
- (3) 地区別公立高校合同説明会において説明（H24年度は県内5地区で実施し，約7,000人を対象として実施）

- ( 4 ) 入試制度保護者説明会において説明( H 2 5 年度は 2 9 回実施)
- ( 5 ) 地区別公立高校合同説明会において説明( H 2 5 年度は県内 7 会場で実施)
- ( 6 ) 入試制度説明会( 中学校教員向け)において説明( H 2 5 年度は 6 会場で実施)
- ( 7 ) 入試事務説明会( 中高等学校教員, 高校教員向け)において説明( H 2 5 年度は 6 会場で実施)
- ( 8 ) H 2 7 年度入試時の選抜条件の大幅変更に向けて, H 2 5 年度内に選抜一覧の予定版を通知